

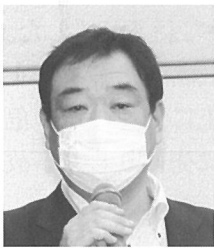
NEWS

産業廃棄物処理業における リスクアセスメント研修会開催

本研修内容は、
協会 HP → 会員専用ページ
→ (一社) 愛知県産業資源循環
協会 → 安全衛生委員会内にて
視聴可能です。

- ・日 時：令和5年2月2日（木）
午前9時30分
- ・場 所：名古屋国際会議場
141・142会議室(名古屋市熱田区)
(YouTube によるライブ配信併用開催)
- ・参加者：54名（43社）

職場の潜在的な危険性又は有害性を見つけ出し、これを除去、低減するためのリスクアセスメント研修会が開催されました。



開会挨拶をする
伊藤安全衛生委員長

開会の挨拶で安全衛生委員長伊藤泰雄氏は「本日は、より深くリスクアセスメントの重要性について学び、実務においての活用方法を習得して社内において実践をしていただければと思います。また、コロナ禍であることからマスク着用にて受講していただきますようご協力のほど宜しくお願い申し上げます。」と述べました。



研修をする
安全管理士の戸田講師

研修会の講師には、中央労働災害防止協会（中災防）中部安全衛生サービスセンター安全管理士戸田準氏をお招きしました。

講義1では「産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメントの必要性」と題して、産廃処理業における労働災害の発生状況、危険性又は有害性か

ら労働災害に至る流れ、労働災害の発生と企業の責任、これまでの労働安全衛生活動の関係、について講義がありました。

講義2では、「リスクアセスメントの基本と実施に向けて」と題して、リスクアセスメントの法的な位置づけ、リスクとは、リスクアセスメントの効果、リスクアセスメントの導入・実施手順、について講義がありました。

演習では、「リスクアセスメント」と題して①危険性又は有害性の特定（説明・個人作業）②リスクの見積り（説明・個人作業・グループ作業）③リスクの低減対策の検討（説明・個人作業・グループ作業）④コメント、の内容にて行われました。

演習においてはグループごとに意見交換が行われ、項目について多くの提案が出されました。

戸田講師からは、個人作業のリスクレベルの意識はばらつきがありますが、グループ作業では集約され意識が統一されます。会社においてはそれぞれの状況に合わせたリスクレベルへの対策を講じていただければとのことでした。

閉会の挨拶で事務局専務理事 堀部隆司氏より、戸田講師へのお礼のことばと、配布資料の「令和5年度における労働災害防止計画」についての説明、また毎年10月に実施するアンケート調査の回答について等の話がありました。

※令和4年度の労働災害防止計画の達成状況は協会のホームページ（会員専用ページ）に掲載されています。

